

所管課		産業経済部農林課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策										
	第3章 元気創造都市			12 林業			03 森林の多面的な機能の充実を図る										
	事業：森林プラン推進事業											整理番号	1211				
目的		近年の林業・木材不況や後継者不足のため、森林施策が立ち遅れ、森林の荒廃が起こり、森林の有する公益的機能が低下している。このため市民一人ひとりが森林保全の必要性を理解し、行政や市民、企業など多様な主体の参加による森林の保全活用を推進していく。															
目標		森林の保全整備を実施する。															
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		49,816		コスト情報・評価	総コスト(千円)		54,772		総合評価	B	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		19,879		内訳	事業費		49,816			効率性		A			
		国府支出金		7,720			人件費		4,956			有効性		B			
		地方債		0			公債費		0			森林プランの進捗状況や、森林環境に係る動向を勘案して、達成目標を整理する必要がある。					
		その他特定財源		22,217			一人あたり(円)		490								
							世帯あたり(円)		1,159								
	評価理由																
貢献度		施策に対する事業貢献度		A		根拠		間伐の促進によって、森林の機能を保全した。									
今後の方向性		施策の集約化の促進や、多様な主体の参加による森林保全の推進及び、荒廃した人工林への間伐施策の推進を実施していく。また、本市森林の実状に適切に対応するため、森林プランの進捗状況や森林環境に係る動向を勘案し、森林プランの見直しに向けた検討を進める。															

事業優先順位		1	細事業：森林プラン推進事業					整理番号	01			
目的		近年の林業・木材不況や後継者不足のため、森林施業が立ち遅れ、森林の荒廃が起こり、森林の有する公益的機能が低下している。このため市民一人ひとりが森林保全の必要性を理解し、行政や市民、企業など多様な主体の参加による森林の保全活用を推進していく。										
目標		森林の保全整備を実施し、森林整備に対する補助金の交付を行う。										
事業実施主体		委託	事業開始年	平成19年度	根拠法令							
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数			平成25年度	平成24年度	比較	
	事業費（決算額）（千円）		49,816	43,853	5,963		総コスト（千円）		54,772	50,995	3,777	
	財源内訳	一般財源	19,879	16,716	3,163		内訳	事業費	49,816	43,853	5,963	
		国府支出金	7,720	4,822	2,898			人件費	4,956	7,142	-2,186	
		地方債	0	0	0			公債費	0	0	0	
		基金利子収入	53	22,315	-98			一人あたり（円）	490	452	38	
		基金寄附金	3,483					世帯あたり（円）	1,159	1,081	78	
		水道会計繰入金等	18,681					参考	職員数（人）	0.65	0.90	-0.25
									再任用職員数（人）	0.00	0.00	0.00
	今後の方向性	施業の集約化の促進や、多様な主体の参加による森林保全の推進及び荒廃した人工林への間伐施業の推進を実施していく。また、本市森林の実状に適切に対応するため、森林プランの進捗状況や森林環境に係る動向を勘案し、森林プランの見直しに向けた検討を進める。										
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	森林所有者、河内長野市民、河内長野市民及び他市町村の寄附者							
	A	A	B									

事業：森林プラン推進事業

本市の森林は、市域面積の約70%を占め、古くから河内林業地帯と呼ばれ、林業生産活動が活発であり、林業関係者により適正に管理されてきた。しかし、長びく林業・木材産業の不振等により林業生産活動は沈滞し、森林の荒廃による公益的機能の低下が懸念されている。

このため、「かわちながの森林プラン※」に基づき、「河内長野の豊かな森林づくり基金」を財源の一部に活用し、51年生から70年生の荒廃している人工林について市直営による間伐を実施した。

また、森林の保全や林業の振興を図るため、森林整備事業に対して助成を行い、適正な森林管理の促進を図った。

※かわちながの森林プラン

…本プランは「河内長野市第4次総合計画」において、まちづくりの基本目標としている「良好な環境の保全と創出の実現」のため、また、林業分野における「安定的な林業経営の支援」「木材需要の拡大」「森林の多面的な機能の充実」といった施策の実現のため具体的な方策として、「環境を重視した森林整備への支援」「市民参加の仕組みづくり」「地元材利用の仕組みづくり」の3つの基本方針を定め、市民や企業の参加による森林の保全活動を進めていくものである。

細事業：森林プラン推進事業

1. 環境保全林調査等業務

(単位：円)

業務名	業務概要	委託料	財源内訳		
			国補助金	豊かな森林づくり基金	一般財源
環境保全林調査等業務	調査面積 46.17ha 林齢・樹種・成立本数など	2,677,500	—	2,455,970	221,530

2. 環境保全林整備業務

(単位：円)

業務名	業務概要	委託料	財源内訳		
			国補助金	豊かな森林づくり基金	一般財源
環境保全林整備業務	整備面積 29.21ha 選木・伐倒・枝払	9,931,950	4,965,975	4,965,975	—

3. 森林環境保全直接支援事業補助金・市単独森林総合整備事業補助金交付業務

(単位：円)

事業名	事業内容	事業費	財源内訳		
			国府補助金	地元負担金	一般財源
森林環境保全直接支援事業	間伐・枝打 56.64ha 作業道開設 6503.6m	45,970,966	18,388,391	14,799,115	12,783,460
環境林整備事業	被害木整理・植栽・雪起こし・除伐 13.85ha	15,120,396	6,048,171	6,048,160	3,024,065
市単独森林総合整備事業	下刈・枝打・間伐 23.13ha	4,681,510	—	2,340,761	2,340,749
	作業道(測量・設計) 1路線 311m	340,200	—	102,060	238,140
	作業道(開設) 1路線 311m	763,000	—	228,900	534,100
合 計		66,876,072	24,436,562	23,518,996	18,920,514